

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県新規産業創出支援センター(ネクスト香川)		
所在地	高松市林町2217-44	供用開始年度	平成11年度
施設の種類	産業支援施設	施設設置根拠	香川県新規産業創出支援センター条例
設置目的	企業等の技術の高度化や新分野進出等を支援することにより、本県の産業の振興を図る。		
施設運営方法	全部委託: 指定管理((公財)かがわ産業支援財団)		
整備事業費	1,722,336千円	施設の概要	【施設】 鉄骨造・3階 敷地面積2,500㎡、延床面積2,721㎡ インキュベート工房、EMC総合試験施設(大型・小型電波暗室等) 【職員の状況】 指定管理者職員 5名(うち2名はFROM香川兼務)
県債	927,000千円		
国庫支出金	640,740千円		
一般財源	154,596千円		
利用料金	使用料		
インキュベート工房使用料	1,560～1870円／㎡		
電波暗室使用料	2,280～35,780円／時間		
会議室使用料等	110～1,560円／時間		
電磁波特性試験手数料	4,930～30,710円／通		
電磁環境試験成績書発行手数料	420～22,000円／通		

行政コスト計算書					
【行政コスト】		令和 7 年度		(千円)	
項目		当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト	人件費	19,313	19.9%	18,262	1,051
	退職給与引当金繰入等				
	小計	19,313	19.9%	18,262	1,051
物にかかるコスト	物件費	8,316	8.6%	11,847	△ 3,531
	維持補修費	38,191	39.3%	21,713	16,478
	減価償却費	27,404	28.2%	27,404	
	その他				
	小計	73,911	76.1%	60,964	12,947
その他のコスト	公債費(利子のみ)	235	0.2%	252	△ 17
	その他	3,757	3.9%	1,900	1,857
	小計	3,992	4.1%	2,152	1,840
行政コスト合計 ①		97,216	100.0%	81,378	15,838
【収入項目】					
使用料・手数料		61,571	63.3%	60,715	856
国庫支出金					
その他					
計 ②		61,571	63.3%	60,715	856
県単独負担額 ①－②		35,645	36.7%	20,663	14,982

●県債残高(R8.3.31現在)

124,222 千円

●利用の状況

(インキュベート工房入居企業数)

R5	8社
R6	10社
R7	10社

(EMC総合試験施設利用企業数)

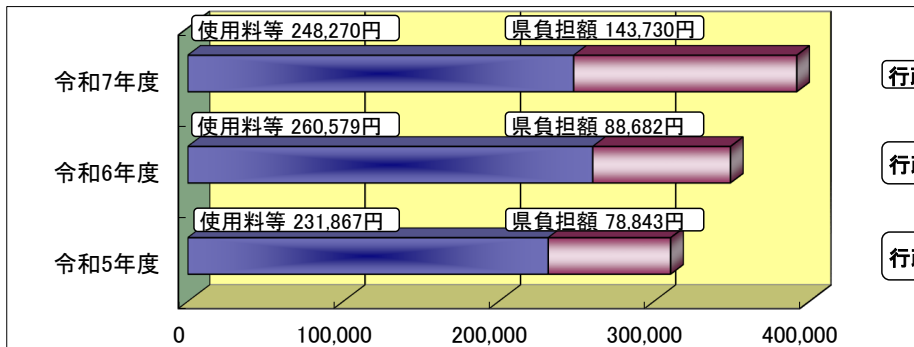
R5	延べ247社
R6	延べ223社
R7	延べ238社

●コスト指標

(利用1企業当たりのコスト)

R5	310,710円
R6	349,261円
R7	392,000円

利用1企業当たりのコスト負担の状況



行政コスト 392,000円

行政コスト 349,261円

行政コスト 310,710円

●コスト縮減、利用向上に向けた取り組み状況

施設の利用者に対し、こまめに節水・節電などの呼びかけを行うことにより経費の節減に努めた。
指定管理者のホームページ等への掲載によりインキュベート工房の入居者募集を行った。一般型と情報通信型のインキュベート工房を設け、多様なニーズに対応しているほか、指定管理者のホームページでEMC総合試験施設の紹介及び予約状況を掲載した。